

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年度全国学力・学習状況調査における広島県の結果を公表します。

1 調査実施日及び調査実施校数（県内公立学校）等

調査実施日：令和8年4月20日（月）～5月29日（金）

学 年	調査実施校数	集計対象者数
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年	440 校	21,559 人
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年	235 校	19,436 人

2 調査実施教科の平均正答率（県内公立学校）

		小 学 校		中 学 校	
		国 語	算 数	国 語	数 学
平均 正答率 (%)	広島県 (公立)	64	58	64	57
	全 国 (公立)	60.9	56.4	63.9	57.0

		中 学 校	
		英語 3技能	英語 4技能
平均IRT スコア	広島県 (公立)	492	9月以降 公表予定
	全 国 (公立)	499	9月以降 公表予定

※ 中学校英語の調査結果は、IRT（項目反応理論）と呼ばれる統計理論に基づいて、500を基準にしたスコアで表されている。IRTは、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定することができる。

※ 中学校英語3技能は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の総合スコア、4技能は「話すこと」を含めた総合スコア。

- 小学校は、国語及び算数において、平均正答率が全国を上回っている。
- 中学校は、国語及び数学において、平均正答率が全国と同程度である。英語3技能において、平均IRTスコアが全国を下回っている。

3 今後の予定

- 令和8年8月3日（月）17:00に、広島県教育委員会のHPで、広島県の調査結果を公表するとともに、調査結果を踏まえた授業展開例についての解説動画を提供予定。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/r08zenkokukekka.html>

- 令和8年9月に、各市町教育委員会の指導主事等及び各小中学校等の教員を対象に、「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善に向けた研究協議会」をオンラインで実施予定。

令和 8 年度全国学力・学習状況調査 調査結果について

令和 8 年 7 月
広島県教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象とする児童生徒

- ・ 小学校第 6 学年、義務教育学校前期課程第 6 学年、特別支援学校小学部第 6 学年
- ・ 中学校第 3 学年、義務教育学校後期課程第 3 学年、中等教育学校前期課程第 3 学年、特別支援学校中学部第 3 学年

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。

(イ) 国語及び算数・数学は、冊子を用いた筆記方式（以下「PBT」（= Paper Based Testing）という。）で実施する。英語は、生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式（以下「CBT」（= Computer Based Testing）という。）で実施する。ただし、3. (2) の点字問題については、冊子を用いることを基本とするが、英語「話すこと」の解答については CBT で実施する。

(ウ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(エ) 出題形式について、記述式の問題を一定割合で出題する。英語「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式とする。

(オ) 英語の出題には、学力の状況や変化を正確に把握することを主目的とする非公開問題を含む。

イ 質問調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問調査」という。）を、児童生徒が活用する ICT 端末等を用いて CBT で実施する。

(2) 学校質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関

する質問調査（以下「学校質問調査」という。）をオンラインによる回答方式で実施する。

4 調査結果の活用及び配慮事項

本調査は、実施教科が小学校調査では国語及び算数の2教科、中学校調査では国語、数学及び英語の3教科であることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の全てを表すものではないことに留意することが必要である。

本調査の結果においては、小学校調査では国語及び算数、中学校調査では国語及び数学の平均正答数、平均正答率等の数値（中学校調査の英語では、IRT スコアを含む）を示しているが、平均正答数、平均正答率、IRT スコアは必ずしも調査結果の全てを表すものではないため、他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価することが重要である。また、個々の設問や領域等に注目して学習指導上の課題を把握、分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

なお、問題別の市町別公表においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進める際の参考にすることが必要である。

※ 平均正答率

- ・ 国語及び算数・数学の平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）
- ・ 学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率

※ IRT スコア

- ・ 児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する IRT（項目反応理論）と呼ばれる統計理論に基づき、500 を基準として算出された数値

5 教科の調査結果について

○ 問題ごとの正答率等を基にして、各教科の調査結果を次のようにまとめている。

- ・ 小学校国語
- ・ 小学校算数
- ・ 中学校国語
- ・ 中学校数学
- ・ 中学校英語

○ 問題別調査結果

- ・ 問題別市町別平均正答率等一覧

<留意点>

問題別の正答率について

- ・ 問題相互に比較を行う場合には、問題ごとの難易度に差があることに留意する。
- ・ 集計対象児童生徒数が異なるため、県全体の平均や他の市町等と比較する場合、慎重に分析する。

広島県

令和 8 年度全国学力・学習状況調査結果の概要

調査実施日

令和8年4月20日（月）～5月29日（金）

調査実施校数（県内公立学校）等

	調査実施校数	集計対象者数
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、 特別支援学校小学部第6学年	440校	21,559人
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、 中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年	235校	19,436人

教科に関する調査の結果

- 小学校は、国語、算数において、平均正答率が全国を上回っている。
- 中学校は、国語、数学において、平均正答率が全国と同程度である。
英語3技能において、平均IRTスコアが全国を下回っている。

		小 学 校		中 学 校	
		国 語	算 数	国 語	数 学
平均正答率 (%)	広島県 (公立)	64	58	64	57
	全 国 (公立)	60.9	56.4	63.9	57.0

		中 学 校	
		英 語 3技能	英 語 4技能
平均 IRT スコア	広島県 (公立)	492	9月以降 公表予定
	全 国 (公立)	499	9月以降 公表予定

※ 中学校英語3技能は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の総合スコア、4技能は「話すこと」を含めた総合スコア。

※ 中学校英語「話すこと」を含めた4技能の平均IRTスコアについては、9月以降（秋頃）に公表予定。

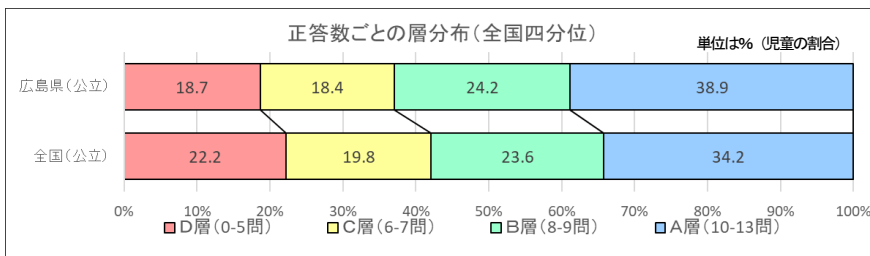
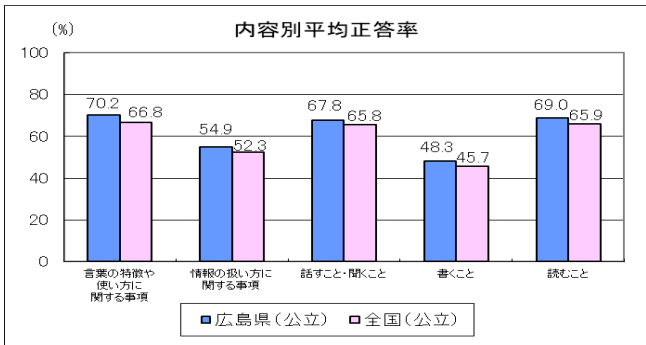
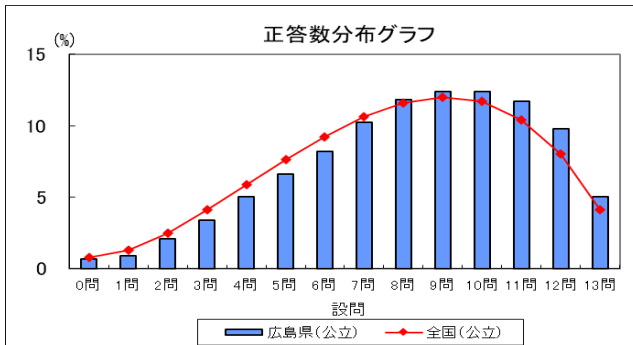
- IRT とは、項目反応理論（Item Response Theory）と呼ばれる統計理論のことで、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定することができる。
- IRT では、これまでのように、同一の問題セットを生徒が一斉に解答し、その正答数によって正答率を算出する調査とは異なり、複数の問題セットが用意され、個々の生徒が異なる問題セットを解答しても、生徒の学力スコアを推定することができる。
- 各学校や自治体に提供される IRT スコアは、500 を基準にしたスコアで示されている。IRT を導入する年の IRT スコアを基準値として、経年比較が可能となる。

教科に関する問題の調査結果

1 小学校 国語

- 国語については、平均正答率が64%で、全ての内容において平均正答率は全国平均より高い。
- 正答数分布グラフは、右寄りの山形になっており、中央値は9問（全国8問）、最頻値は9問、10問（全国9問）となっている。
- D層（正答数0～5問）の児童の割合は、全国に比べて3.5ポイント低い。

国語



※正答数ごとの層分布(全国四分位)
全国の児童を正答数の大きい順に整理し、
人数割合により25%刻みでA～Dの4つの層
に分け、その層別の状況を示したもの。

正答率上位2問

- 【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す(みじか-い)
(設問 2三ア) 84.0% (全国 80.0%)
- 【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く
(設問 3三(2)) 81.2% (全国 76.4%)

正答率下位2問

- 【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く
(設問 2四) 37.0% (全国 33.5%)
- 【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す(ふしぎ)
(設問 2三イ) 48.8% (全国 45.2%)

全国平均正答率を上回った上位2問

- 【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く
(設問 3三(2)) 81.2% (全国 76.4%、全国比+4.8 pt)
- 〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する
(設問 1二(3)) 69.2% (全国 65.2%、全国比+4.0 pt) ※同ポイント
- 【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す(みじか-い)
(設問 2三ア) 84.0% (全国 80.0%、全国比+4.0 pt) ※同ポイント

全国平均正答率を下回った下位2問

- 該当なし



各教科の分析には、次のような項目を入れています。

○正答数ごとの層分布(全国四分位)
学習につまずきが見られるD層の児童生徒の割合に着目し、児童生徒一人一人に対する支援や手立てを考えることにつなげていくため。

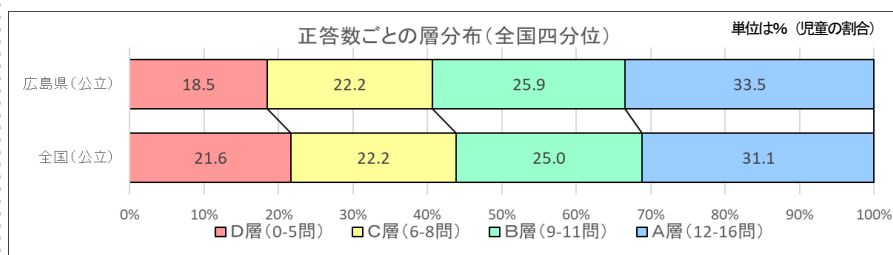
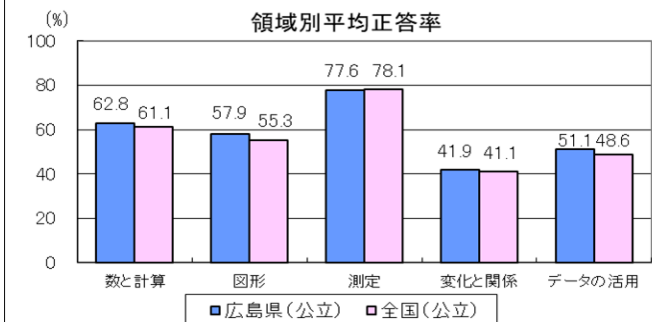
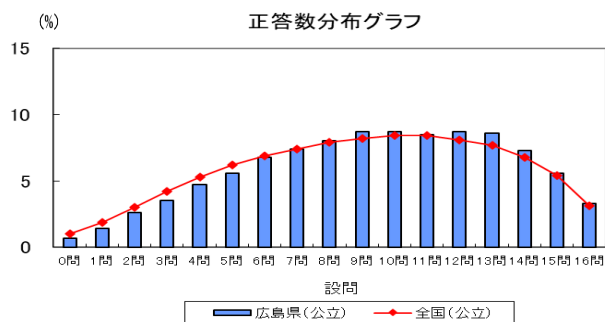
○全国平均正答率を上回った上位(下回った下位)2問

全国平均正答率と比べることで、各教科における広島県の傾向を把握し、授業改善等の取組につなげていくため。

2 小学校 算数

- 算数については、平均正答率が 58%で、内容別では、「測定」の平均正答率は全国平均より低く、他の内容は全国平均より高い。
- 正答数分布グラフは、なだらかな右寄りの山形になっており、中央値は 10 問（全国 9 問）、最頻値は 9 問、10 問、12 問（全国 10 問、11 問）となっている。
- D 層（正答数 0～5 問）の児童の割合は、全国に比べて 3.1 ポイント低い。

算 数



※正答数ごとの層分布(全国四分位)
全国の児童を正答数の大きい順に整列し、人数割合により 25%刻みで A～D の 4 つの層に分け、その層別の状況を示したものの。

正答率上位2問

- 1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることができる最も大きい数を書く (設問 ③ (1)) 95.4% (全国 94.5%)
- 一辺が8 cmの立方体の体積を求める式を書く (設問 ① (1)) 78.7% (全国 72.7%)

正答率下位2問

- 二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く (設問 ④ (3)) 17.7% (全国 17.9%)
- 赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ (設問 ② (4)) 34.4% (全国 34.2%)

全国平均正答率を上回った上位2問

- 一辺が8 cmの立方体の体積を求める式を書く (設問 ① (1)) 78.7% (全国 72.7%、全国比 +6.0pt)
- 全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表1と表2の中から書く (設問 ④ (1)) 61.7% (全国 56.2%、全国比 +5.5pt)

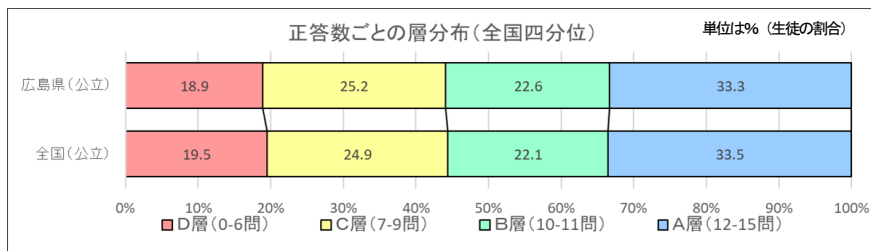
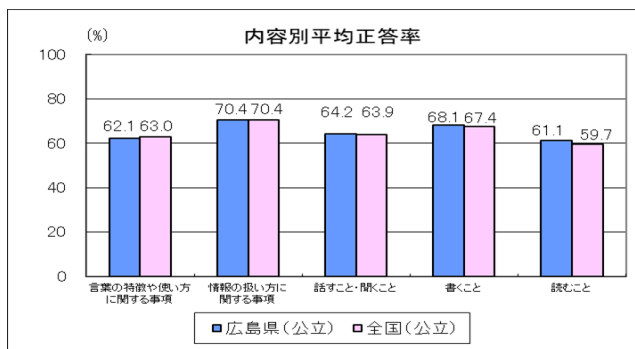
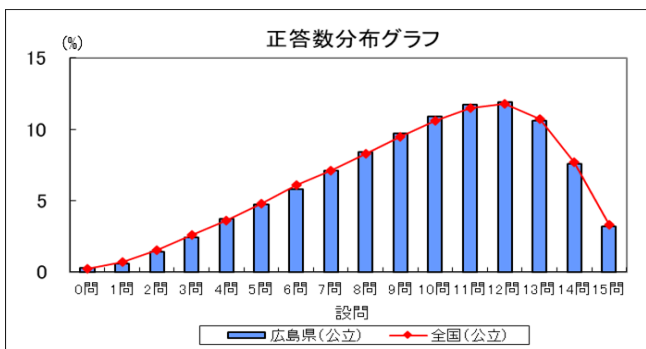
全国平均正答率を下回った下位2問

- 昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く (設問 ④ (2)) 77.6% (全国 78.1%、全国比 -0.5pt)
- 二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く (設問 ④ (3)) 17.7% (全国 17.9%、全国比 -0.2pt)

3 中学校 国語

- 国語については、平均正答率が64%で、内容別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率は全国平均より低く、「情報の扱い方に関する事項」は全国平均と同程度、他の内容は全国平均より高い。
- 正答数分布グラフは、右寄りの山形になっており、中央値は10問（全国10問）、最頻値は12問（全国12問）となっている。
- D層（正答数0-6問）の生徒の割合は、全国に比べて0.6ポイント低い。

国語



※正答数ごとの層分布(全国四分位)
全国の児童を正答数の大きい順に整理し、人数割合により25%刻みでA~Dの4つの層に分け、その層別の状況を示したものの。

正答率上位2問

- 気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く
(設問 3二) 93.2% (全国 92.3%)
- 「ら抜き言葉」であるものを選択する
(設問 1三) 84.3% (全国 85.4%)

全国平均正答率を上回った上位2問

- 二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く
(設問 4四) 42.0% (全国 38.9%、全国比 +3.1pt)
- 話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く
(設問 2四) 53.9% (全国 52.7%、全国比 +1.2pt) ※同ポイント
- 国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す
(設問 4二) 36.4% (全国 35.2%、全国比 +1.2pt) ※同ポイント

正答率下位2問

- 国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す
(設問 4二) 36.4% (全国 35.2%)
- 文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する(とる)
(設問 3一) 39.1% (全国 39.8%)

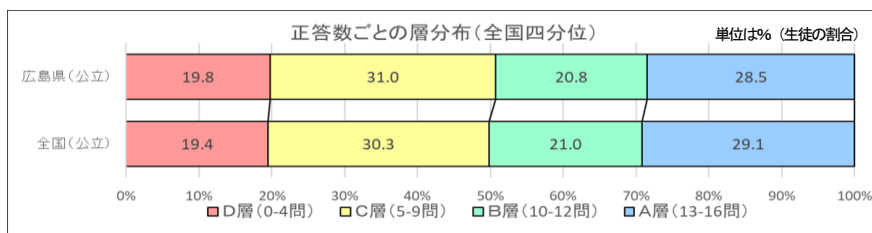
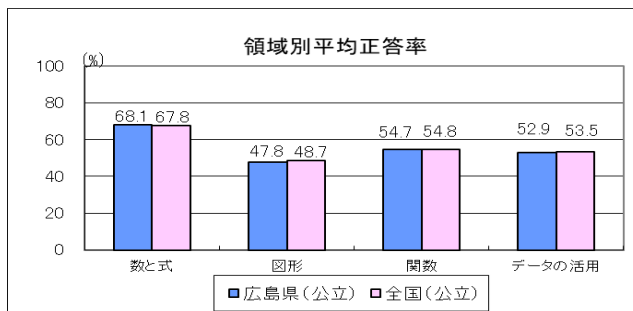
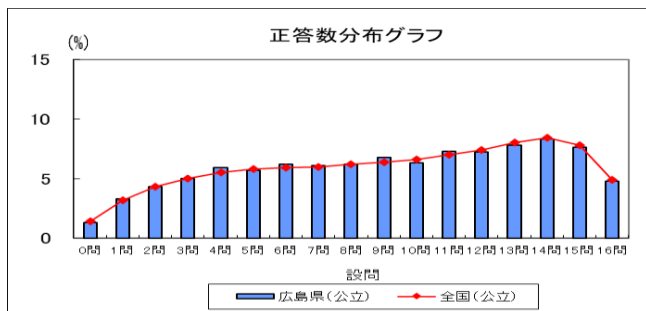
全国平均正答率を下回った下位2問

- 「投げられる」を説明したものととして適切なものを選択する
(設問 1二) 67.7% (全国 70.2%、全国比 -2.5pt)
- 「可能の意味」を含んでいるものととして適切なものを選択する
(設問 1一) 82.9% (全国 84.3%、全国比 -1.4pt)

4 中学校 数学

- 数学については、平均正答率が 57%で、内容別では、「数と式」の平均正答率は全国平均より高く、他の内容は全国平均より低い。
- 正答数分布グラフは、なだらかで右に寄っており、中央値は9問（全国 10 問）、最頻値は 14 問（全国 14 問）となっている。
- D 層（正答数 0-4 問）の生徒の割合は、全国に比べて 0.4 ポイント高い。

数 学



※正答数ごとの層分布(全国四分位)
全国の児童を正答数の大きい順に整理し、人数割合により 25%刻みで A~D の 4 つの層に分け、その層別の状況を示したものの。

正答率上位2問

- 2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く
(設問 1) 85.3% (全国 85.7%)
- 選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く
(設問 6 (1)) 75.0% (全国 73.2%)

正答率下位2問

- 「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する
(設問 9 (3)) 32.7% (全国 31.9%)
- データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する
(設問 7 (2)) 36.0% (全国 33.9%)

全国平均正答率を上回った上位2問

- データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する
(設問 7 (2)) 36.0% (全国 33.9%、全国比 +2.1pt)
- 選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く
(設問 6 (1)) 75.0% (全国 73.2%、全国比 +1.8pt)

全国平均正答率を下回った下位2問

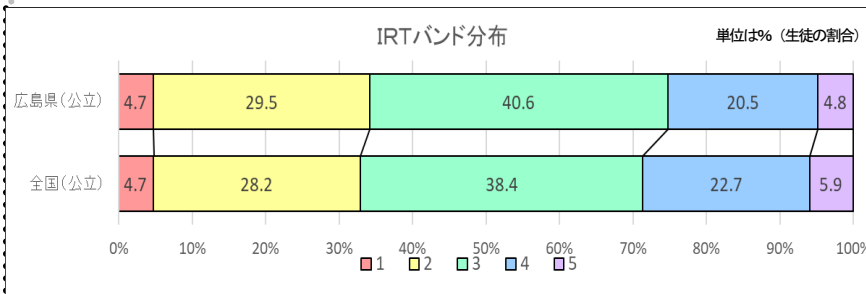
- 四角形PQRSにおいて、PS平行QRを示すための根拠となる二つの角を書く
(設問 3) 47.0% (全国 49.1%、全国比 -2.1pt)
- 反比例の表において、xの値が-3のときのyの値を求める
(設問 4) 53.4% (全国 55.3%、全国比 -1.9pt)

5 中学校 英語（3技能）

○ 英語3技能については、平均 IRT スコアが 492 で、IRT バンド1の生徒の割合は、全国と同ポイントで、IRT バンド2の生徒の割合は全国に比べて 1.3 ポイント高い。

※ 中学校英語3技能は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

英 語(3技能)



※ IRTバンド

各生徒に対して出題された問題の正誤状況に基づき、総合的に推定されるもので、1～5の5段階に区切ったもの。3を基準とし、5が最もスコアが高い。

正答率上位2問

- ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する
(設問 2) 76.6% (全国 78.5%)
- 学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する
(設問 3) 75.0% (全国 76.0%)

正答率下位2問

- 学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く
(設問 14) 26.0% (全国 27.8%)
- インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く
(設問 10 (2)) 26.7% (全国 27.8%)

全国平均正答率を上回った上位2問

- 中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く
(設問 12) 51.5% (全国 47.5%、全国比 +4.0pt)
- 留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く
(設問 13) 45.9% (全国 44.0%、全国比 +1.9pt)

全国平均正答率を下回った下位2問

- 物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものをを選択する
(設問 9) 45.8% (全国 49.0%、全国比 -3.2pt)
- 与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く
(設問 11 (2)) 49.7% (全国 52.7%、全国比 -3.0pt)

※ 上で取り上げた問題は、公開問題 16 問を対象としている。

令和8年度全国学力・学習状況調査中学校第3学年英語 「聞くこと」 https://www.nier.go.jp/26chousa/pdf/26mondai_chuu_eigo_lis_kkykf.pdf

「読むこと」「書くこと」 https://www.nier.go.jp/26chousa/pdf/26mondai_chuu_eigo_rw_kkykf.pdf

「話すこと」 https://www.nier.go.jp/26chousa/pdf/26mondai_chuu_eigo_speak_kkykf.pdf

質問調査に関する調査結果

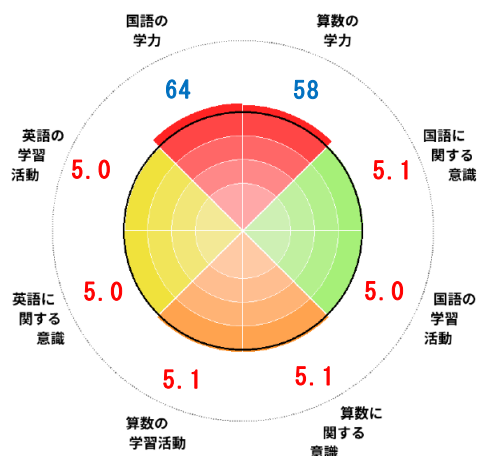
○ 全国学力・学習状況調査結果チャート

- 小学校は、質問調査において、全ての領域で全国と同程度又は全国を上回っている。
- 中学校は、質問調査において、「英語に関する意識」「学習習慣」で全国より低く、他の領域は全国と同程度又は全国を上回っている。

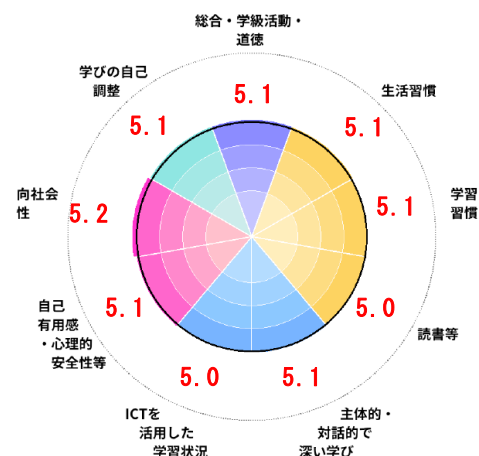
小学校

学校数 440 校 生徒数 21,559 人

教科を中心とした学力・学習状況



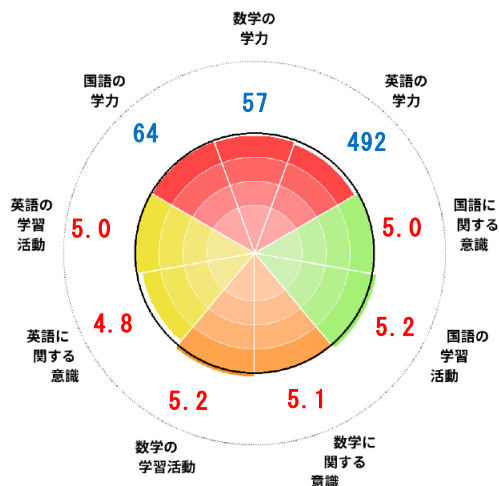
その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）



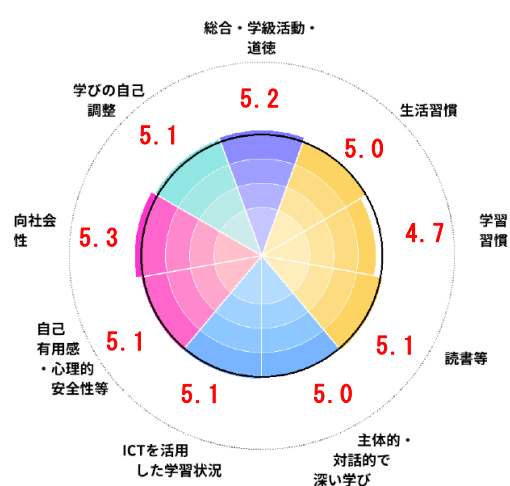
中学校

学校数 235 校 生徒数 19,436 人

教科を中心とした学力・学習状況



その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）



※結果チャートについて：児童生徒質問調査の下記の領域の回答状況を得点換算したもの（有効数字2桁）。全国平均が5.0となるように標準化されており、その値が大きいほど、当該領域において肯定的な回答割合が高いことを意味している。チャート内の数値は、広島県の得点を示している。

領域名	児童生徒質問番号等	領域名	児童生徒質問番号	領域名	児童生徒質問番号
国語の学力	平均正答率 (中学校英語は平均IRTスコア)	算数(数学)の学習活動	(62)(65)～(67)	読書等	(26)～(30)
算数(数学)の学力		英語に関する意識	児童(69)～(71) 生徒(69)(70)(72)(73)	主体的・対話的で深い学び	(38)～(42)(44)(46)
英語の学力		英語の学習活動	児童(72)(73) 生徒(71)(74)～(76)(78)～(80)	ICTを活用した学習状況	(35)(36-1)～(36-4)
国語に関する意識	(52)(53)(55)	総合・学級活動・道徳	(47)～(51)	自己有用感・心理的安全性等	(6)～(9)(13)(15)(17)(20)(21)
国語の学習活動	(54)(56)～(59)	生活習慣	(1)～(4)	向社会的性	(11)(12)(14)(33)
算数(数学)に関する意識	(60)(61)(63)(64)	学習習慣	(23)(25)	学びの自己調整	(22)(43)

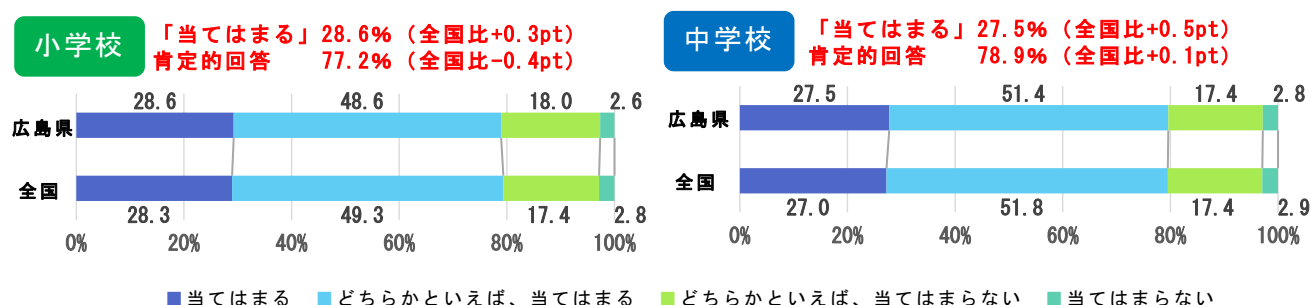
児童生徒質問の内容については、国立教育政策研究所 HP を参照。<https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>

○ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況

- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える（「当てはまる」に回答）児童生徒の割合は、全国平均より高い。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高い。
- 個別最適な学びになっていると感じていたり、協働的な学びに取り組んだと考えたりしている児童生徒ほど、各教科の正答率が高い。

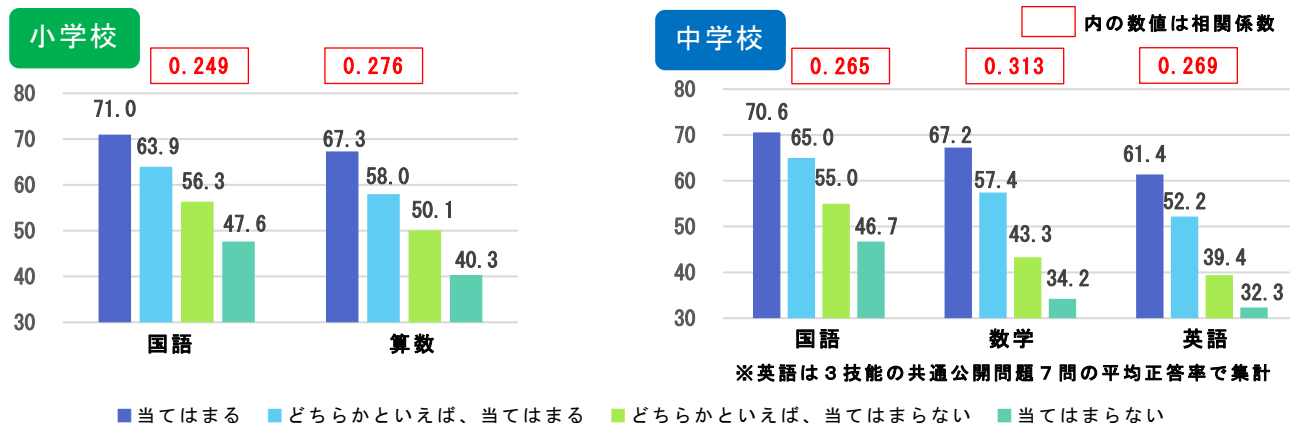
主体的・対話的で深い学び

児童生徒質問 5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



※無回答等の割合を省略しているため、合計は100%とならない。

各教科の正答率との関係（クロス集計） 選択肢ごとの教科の平均正答率

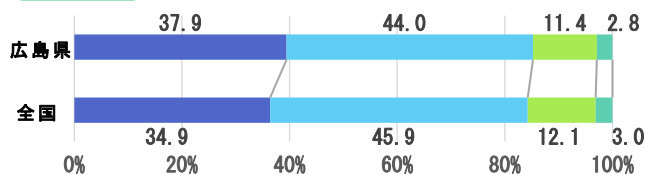


個別最適な学び

児童生徒質問 5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

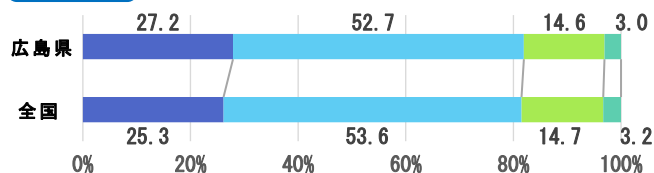
小学校

「当てはまる」37.9%（全国比+3.0pt）
肯定的回答 81.9%（全国比+1.1pt）



中学校

「当てはまる」27.2%（全国比+1.9pt）
肯定的回答 79.9%（全国比+1.0pt）



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

※無回答等の割合を省略しているため、合計は100%とならない。

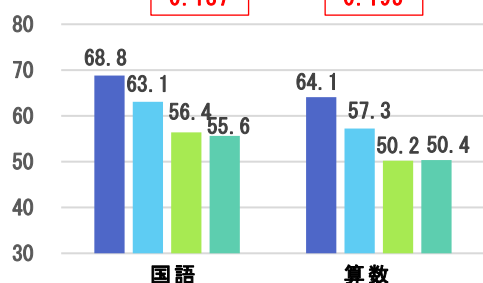
各教科の正答率との関係（クロス集計）

選択肢ごとの教科の平均正答率

小学校

0.187

0.195



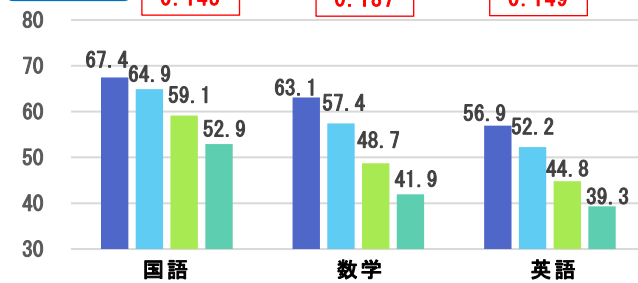
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

中学校

0.145

0.187

0.149



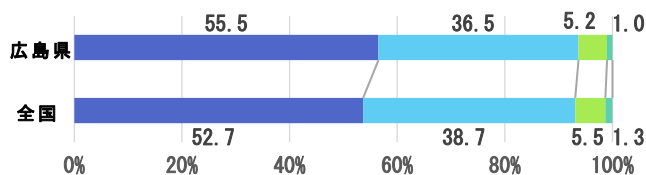
※英語は3技能の共通公開問題7問の平均正答率で集計

協働的な学び

児童生徒質問 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

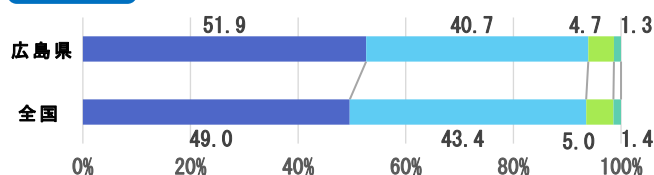
小学校

「当てはまる」55.5%（全国比+2.8pt）
肯定的回答 92.0%（全国比+0.6pt）



中学校

「当てはまる」51.9%（全国比+2.9pt）
肯定的回答 92.6%（全国比+0.2pt）



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

※無回答等の割合を省略しているため、合計は100%とならない。

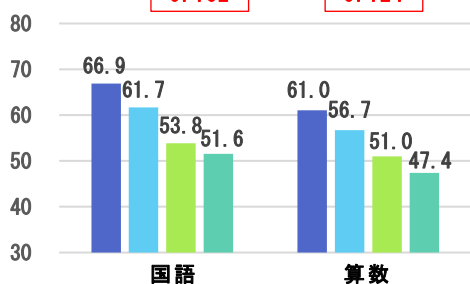
各教科の正答率との関係（クロス集計）

選択肢ごとの教科の平均正答率

小学校

0.162

0.124



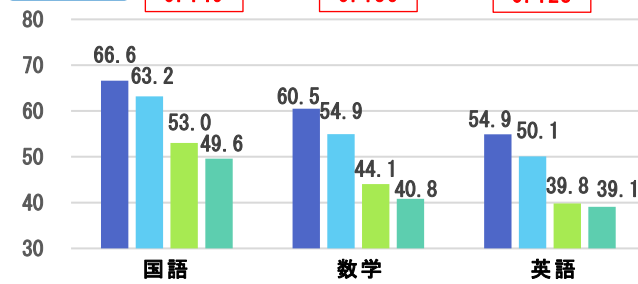
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

中学校

0.149

0.156

0.128



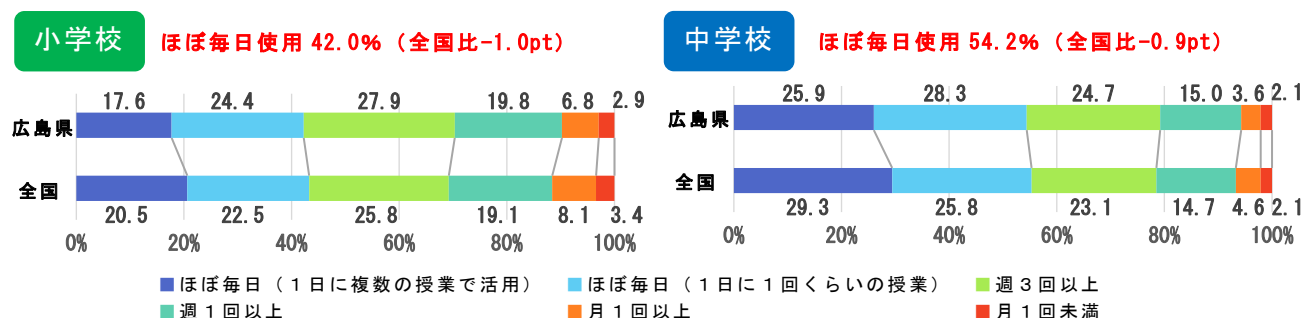
※英語は3技能の共通公開問題7問の平均正答率で集計

○ ICT を活用した学習状況

- 一人1台端末をほぼ毎日使用した児童生徒の割合は、全国平均より低い。
- 一人1台端末をほぼ毎日使用した児童生徒は、それ以外の児童生徒と比べ、各教科の正答率が高い。
- 児童生徒が自分で調べる場面や発表・表現する場面、やりとりする場面で一人1台端末を使用させている学校の割合は、全国平均より低い。

一人1台端末の使用頻度

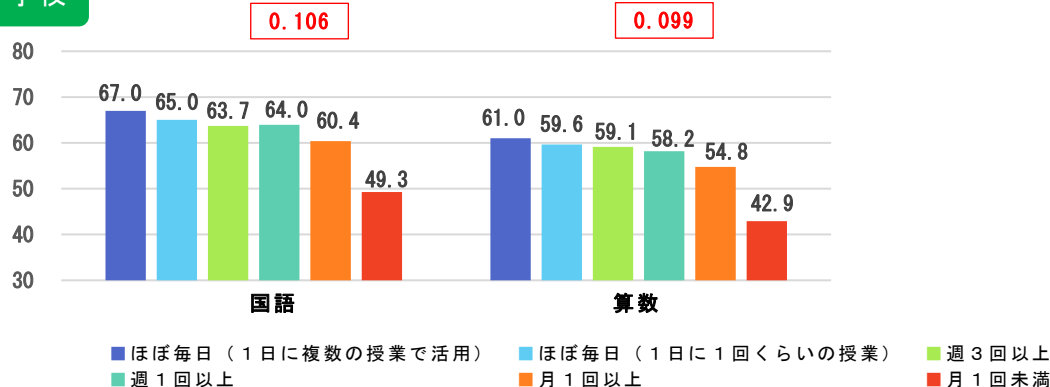
児童生徒質問 5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



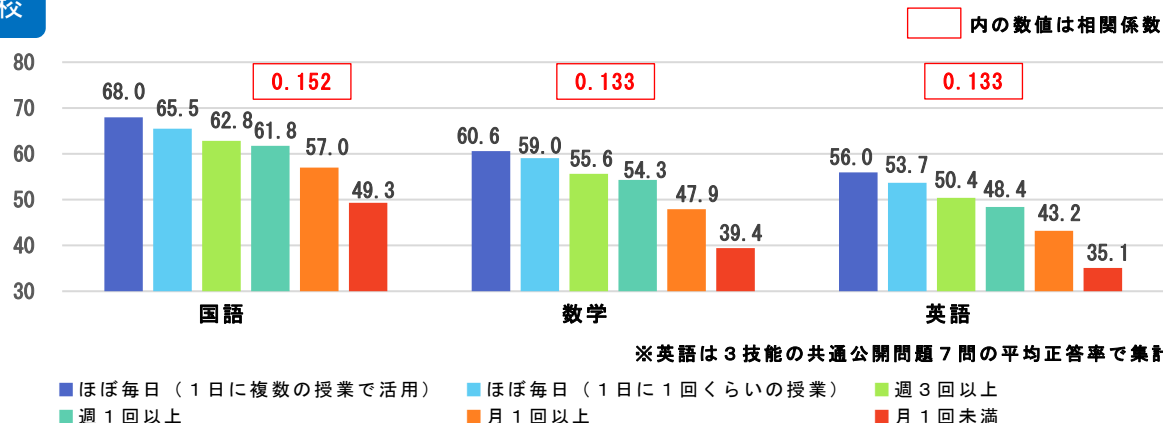
※無回答等の割合を省略しているため、合計は100%とならない。

各教科の正答率との関係（クロス集計） 選択肢ごとの教科の平均正答率

小学校



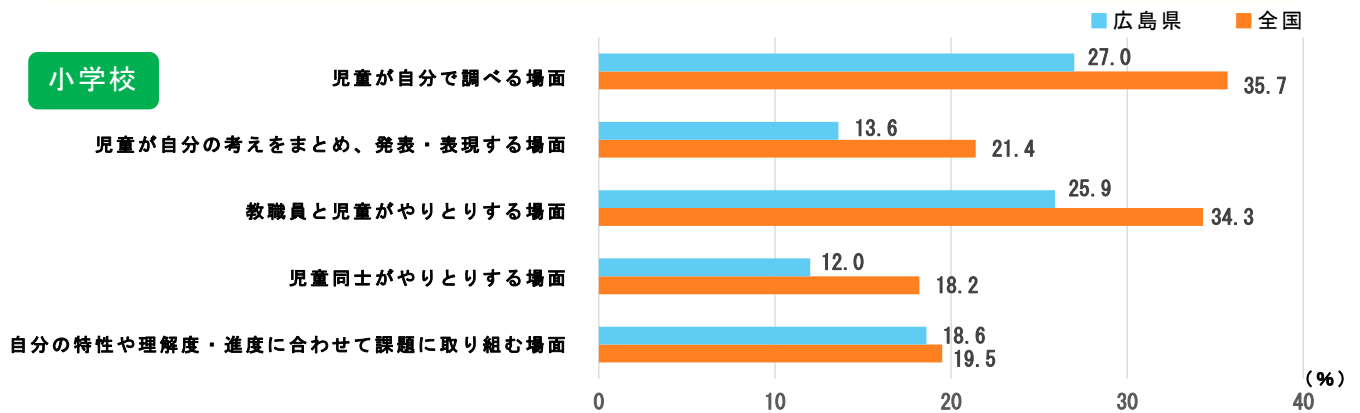
中学校



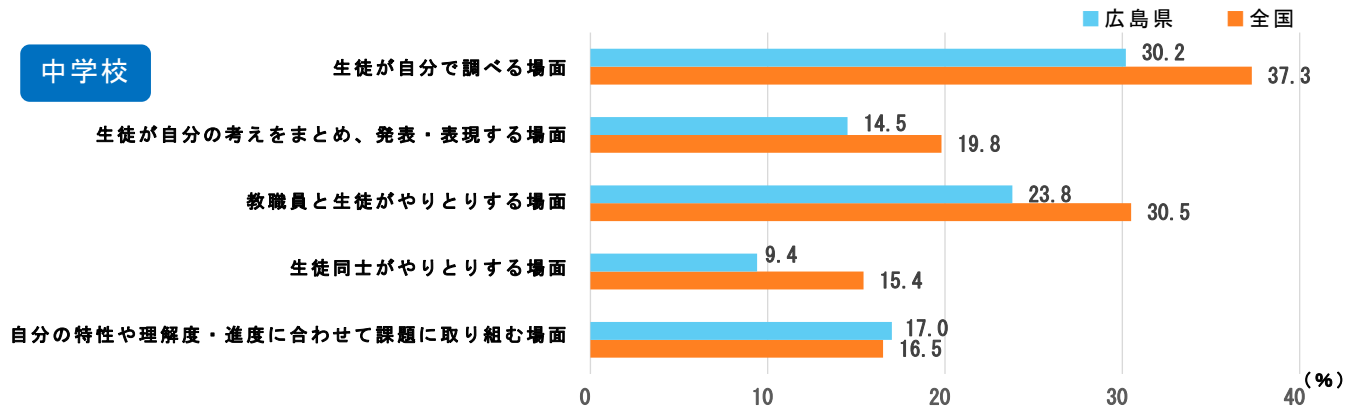
一人1台端末の指導状況

学校質問 次のような場面で児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。（「ほぼ毎日」と回答した学校の割合）

小学校



中学校

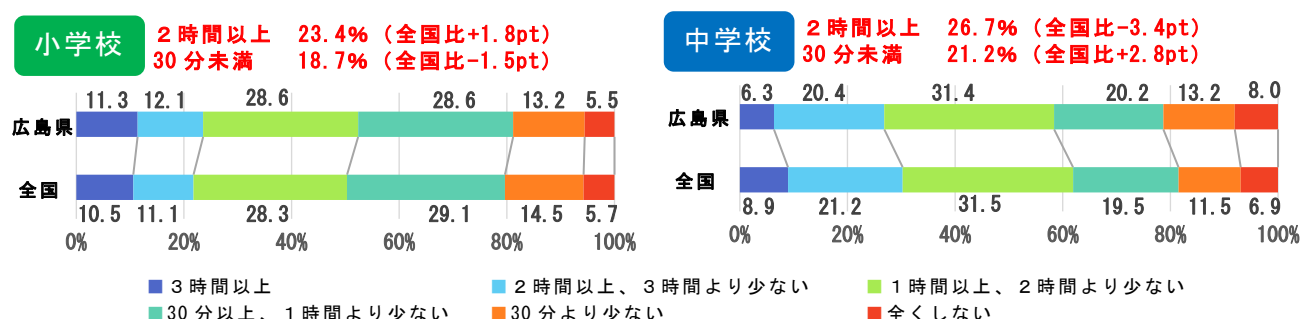


○ 学習習慣

- 授業を除く平日の勉強時間が2時間以上の児童生徒の割合は、全国平均より、小学校は高いが、中学校は低い。
- 休日の勉強時間が3時間以上の児童生徒の割合は、全国平均より、小学校は高いが、中学校は低い。
- 授業を除く平日や休日に全く勉強をしない児童生徒は、それ以外の児童生徒と比べ、各教科の正答率は低い。

平日の勉強時間（授業を除く）

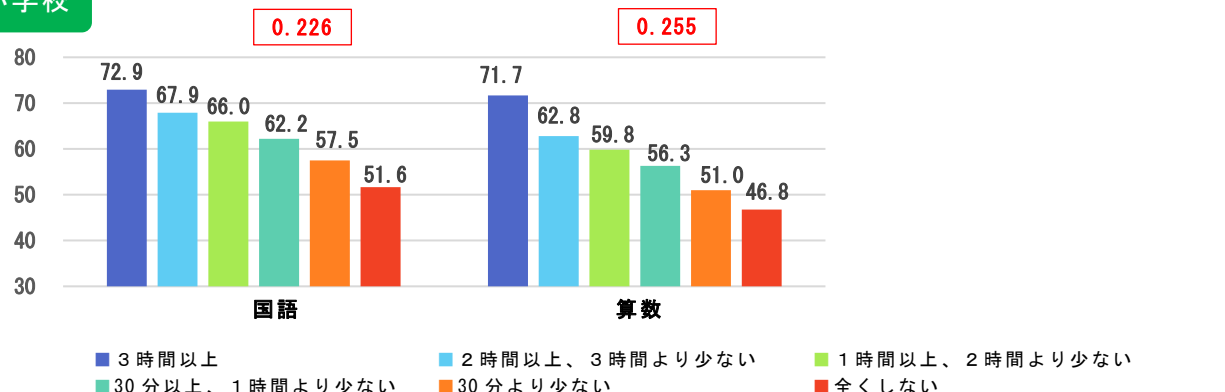
児童生徒質問 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



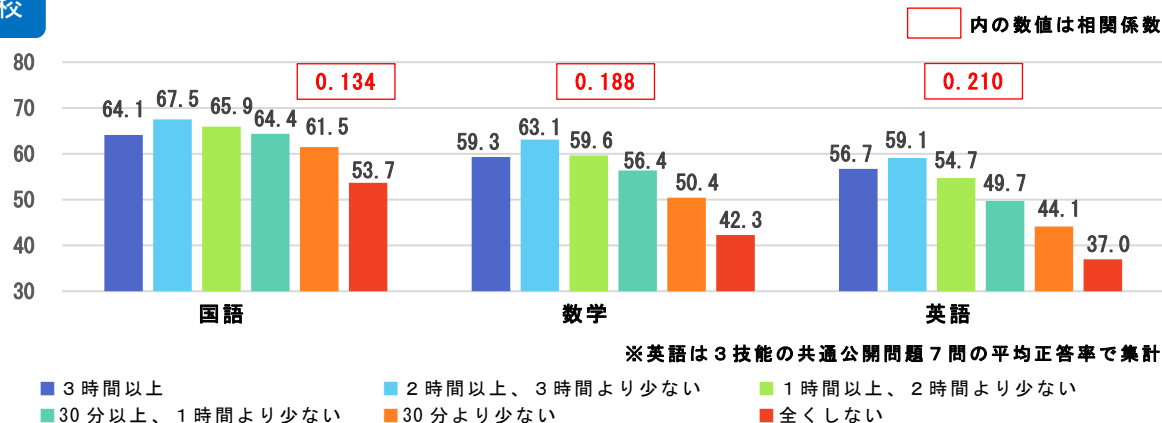
※無回答等の割合を省略しているため、合計は100%とならない。

各教科の正答率との関係（クロス集計） 選択肢ごとの教科の平均正答率

小学校

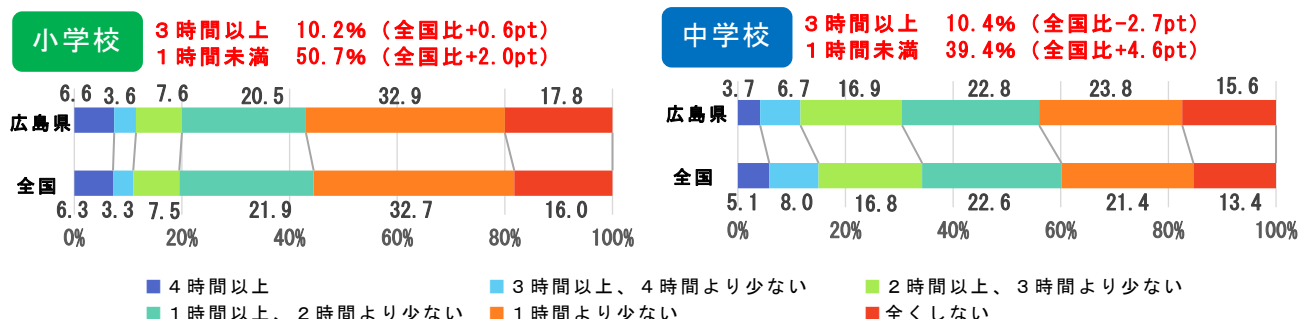


中学校



休日の勉強時間

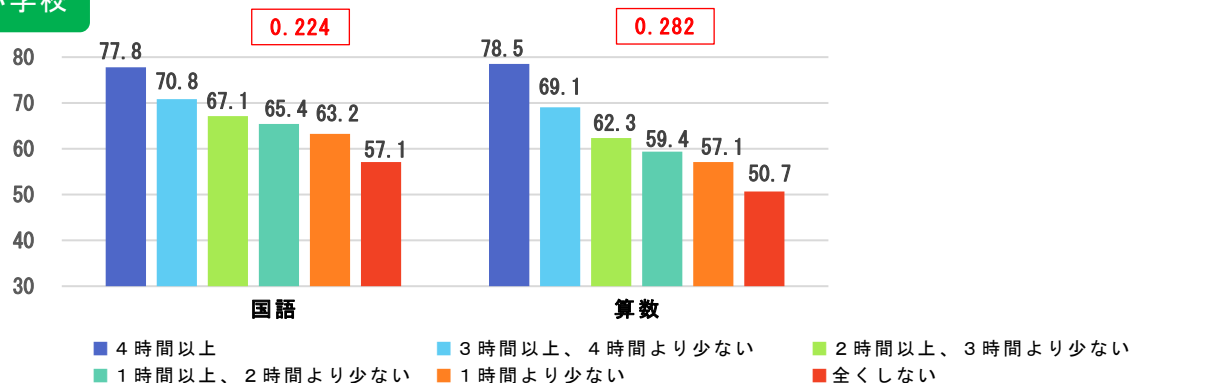
児童生徒質問 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



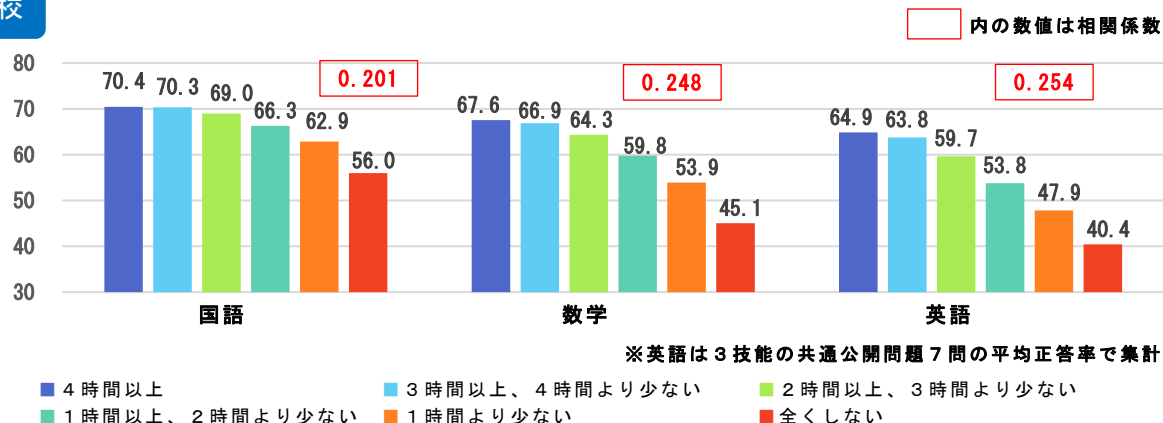
※無回答等の割合を省略しているため、合計は100%とならない。

各教科の正答率との関係（クロス集計） 選択肢ごとの教科の平均正答率

小学校



中学校



特徴的な問題 小学校 算数

日常生活の問題を解決するために、表やグラフを読み取ること。

(4 交流会)

(3) 「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる」問題

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるとに参加する 1 年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)				
		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する 1 年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ⑦ 人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ④ 人です。

上の ⑦、④ に入る数を、それぞれ書きましょう。

平均正答率
広島県 17.7%
全 国 17.9%

【解答類型とその反応率】

1 段目：広島県（公立）の生徒数の割合（%）
2 段目：全 国（公立）の生徒数の割合（%）

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4（3）	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く	17.7	0.9	24.2	21.2	6.7	16.3	0.2	0.1	3.1	0.6
		17.9	1.1	24.1	20.0	6.2	16.1	0.2	0.1	3.2	0.7
		11	12	13	14	15	16	17	18	99	無解答
		0.2								6.2	2.7
		0.2								6.2	3.9

		ア				イ			
1	◎	13 と解答				8 と解答しているもの			
2						9 と解答しているもの			
3						類型1、類型2以外の解答 無解答			
4		4 又は 9 と解答				8 と解答しているもの			
5						9 と解答しているもの			
6						類型4、類型5以外の解答 無解答			
7		12 と解答				8 と解答しているもの			
8						9 と解答しているもの			
9						類型7、類型8以外の解答 無解答			
10		類型1から類型9以外の解答				8 と解答しているもの			
11		無解答				9 と解答しているもの			
99		上記以外の解答							
0		無解答							

【指導改善のポイント】

⇒ 反応率の高い誤答 3 は、「縦と横の交わったところ」を条件に合わせて正しく読み取ることにつまずいていることが考えられる。

指導に当たっては、データを分類・整理して二次元の表に表したものを活用し、全ての児童が条件に合わせて位置を正しく指し示しているかを、確認する場面を設けることが考えられる。その際、「縦と横の交わったところ」を見付けられていない児童に対しては、例えば、九九の表などの既習事項と結び付けて表の見方を確かめる場面を設けたり、透明シートなどで、「縦」と「横」の関係を視覚的に捉えられるような支援を行ったりすることが大切である。

算数 4 (3) 二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題 授業展開例

こんな授業を！授業改善のヒント

データを分類・整理して二次元の表に表したものを活用し、全ての児童が条件に合わせて位置を正しく指し示しているかを、確認する場面を設けましょう。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

確認する

みなさんも、その場所を確認してみましょう。



※「縦と横の交わったところ」を見付けられていない児童を見付けて支援しましょう！
→支援の具体は次のスライドで紹介します。

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

前半は「かるた」に参加し、後半は「あやとり」に参加する人数は何人ですか？

8人です。

どうやって見付けましたか？

前半の「かるた」と、後半の「あやとり」が交わったところを見ました。

見付ける

意味を説明する

「9」はどんな人数を表していますか？

前半は「あやとり」、後半は「かるた」に参加する人数です。

では、「13」はどんな人数を表していますか？

※表にある数の意味を問いつてみましょう！

算数 4 (3) 二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題 授業展開例

こんな授業を！授業改善のヒント

データを分類・整理して二次元の表に表したものを活用し、全ての児童が条件に合わせて位置を正しく指し示しているかを、確認する場面を設けましょう。

確認する

みなさんも、その場所を確認してみましょう。

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

正しく見付けることができていない児童を発見！

どこを見ればいいのか分からない…。

この見方、前にもやったことがあるんだよ。九九の表を思い出してみましょう。

九九の表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

「3の段」はどこを見ますか？

青の3を横に見ます。

「5をかける」はどこを見ますか？

赤の5を縦に見ます。

じゃあ、答えはどこにありますか？

横と縦が交わったところですよ。

この表でも同じように考えられるかな？

うーん…どこを見ればいいんだろう。

では、このシートを重ねてみましょう。

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

←透明シートに半透明のテープを2本貼りつけたもの

赤い線はどこですか？

ここです。

青い線はどこですか？

ここです。

では、答えはどこですか？

青と赤が重なったところだ！

特徴的な問題 中学校 英語

【「書くこと」の領域】

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く

(10 短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く)

- 10 (2) インターネットの使用に関する文章を読み、書き手の質問に対する自分の考えとその理由を書く問題

(2) まいこの質問に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で書きなさい。【まいこが書いた文章】にある表現を使って書いてもかまいません。

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly.

Do you think my opinion is good?

<解答欄> ※半角で入力してください

Do you think my opinion is good?

あなたの考え

なぜそう考えるのか

【正答例】

- ・ Your opinion is good. Students can get a lot of information for learning on the internet.
- ・ No, I don't. The internet is not useful because some information is wrong.

平均正答率
広島県 26.7%
全 国 27.8%

【解答類型とその反応率】

1 段目：広島県（公立）の生徒数の割合（％）

2 段目：全 国（公立）の生徒数の割合（％）

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9 9	無解答
10 (2)	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	21.0	5.6	38.0	7.2	2.2	0.2	11.0		2.1	12.6
		22.4	5.4	35.5	8.3	2.0	0.2	9.7		2.1	14.8

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

条件① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。〈解答欄〉の「あなたの考え」に該当する部分

条件② 条件①の理由を書いている。〈解答欄〉の「なぜそう考えるのか」に該当する部分

1	◎	条件①、条件②を満たして解答しているもの
2	○	文法事項などに誤りがあるが、条件①、条件②を満たして解答しているもの ※「文法事項など」とは、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを指す
3		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
4		条件①を満たして解答しているが、条件②に関わる記述がないもの
5		条件①を満たしていないが、条件②を満たして解答しているもの
6		条件①に関わる記述はないが、条件②を満たして解答しているもの
7		条件①、条件②を満たさないで解答しているもの
9 9		上記以外の解答
0		無解答

【指導改善のポイント】

⇒ 反応率の高い誤答 3 は、読んで把握した内容に基づき、自分の考えや気持ちだけでなく、その理由などを書くことができていないと考えられる。

指導に当たっては、実際の生活において必要な場面を想定した言語活動を通して、社会的な話題に関して読んで把握した内容に基づき、自分の考えや気持ちとその理由を書く活動に取り組む必要がある。その際、例えば、読んだ内容について、自分の考えとその理由をメモに整理したり、メモを基に話したりした上で、書く活動に取り組むことが考えられる。その後、書いたことを基に、生徒同士で感想や質問を伝え合ったり、教師からのフィードバックを与えたり、自分の考えを再構築する活動を行うなど、読み手にとって読みやすく分かりやすい文章となるよう意識させることが重要である。

英語 10 (2) 〔思考・判断・表現〕「書くこと」(ウ)

「学習過程」を意識した授業づくり

1. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握する

こんな授業を！授業改善のヒント

読んで把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書くという活動の見通しをもたせましょう。

2. 書き手の意見を読み、要点を捉える

3. 自分の考えとその理由を整理する

こんな授業を！授業改善のヒント

読んで把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動を繰り返し行いましょう。

4. 意見交換をし、自分の考えを再構築する

こんな授業を！授業改善のヒント

互いの意見を読み合ったり、伝え合ったりすることで、意見交換をし、自分の考えを再構築する活動を行いましょう。

英語 10 (2) 〔思考・判断・表現〕「書くこと」(ウ) 授業展開例

こんな授業を！授業改善のヒント

互いの意見を読み合ったり、伝え合ったりすることで、意見交換をし、自分の考えを再構築する活動を行いましょう。

4. 意見交換をし、自分の考えを再構築する

(生徒が書いた考えとその理由)

Yes, I do.

(自分の考えのみ)

I disagree with you.

(理由が明確でない)

There is a lot of information on the internet.

Now, please read your classmates' opinions, then ask questions or give some advice about them.

Why do you think his opinion is good ?

Because... I can find English words I don't know easily.

I see, then you need to add it.

Thank you. Why do you disagree with him?

Well, there is a lot of information on the internet.

デジタル機器の活用
クラウドを用いた
他者参照

I think that having a lot of information is also a good reason to use the internet.

Good point. You should explain your reason more clearly. Why do you think "a lot of information" supports your opinion?

Because I think some information is wrong.

自分の意見や主張とその理由や根拠の関係を明確にしながら書くことが大切です。

Now, let's write about your opinion again. After that, please send it to me.

(生徒が書いた考えとその理由)

Yes, I do.

I can find English words I don't know easily.

I disagree with you.

Some information on the internet is wrong.

クラウド上で共有した考えを読み合ったり、伝え合ったりすることもできます。また、自分の考えと理由を書く際に、読んだ英文の内容や表現を引用するなどして書くこともできます。

【URL】 8月3日(月) 17時掲載予定

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/r08zenkokukekka.html#ancher4>

令和8年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【国語】
広島県—児童（公立）

小学校調査
その1

・以下の集計値／グラフは、4月23日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数		広島県（公立）	全国（公立）	対象児童数		広島県（公立）	全国（公立）
		440	18,077			21,551	922,411

分類		区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
				広島県（公立）	全国（公立）
		全体	13	64	60.9
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	70.2	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	54.9	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	67.8	65.8
		B 書くこと	2	48.3	45.7
		C 読むこと	2	69.0	65.9
評価の観点		知識・技能	6	65.1	62.0
		思考・判断・表現	7	62.6	60.1
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	9	64.2	61.9
		短答式	2	66.4	62.6
		記述式	2	59.1	54.9

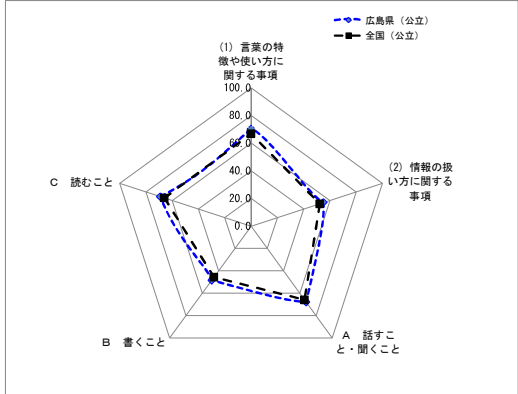
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
			(1)	(2)	(3)	A	B	C						
			言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
1一	【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる				3・4イ				○		○		
1二(1)	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○		
1二(2)	【動画の一部】の太線囲みの部分の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○		
1二(3)	〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる	5・6ク						○			○		
2一	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる					5・6イ			○		○		
2二	【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる		3・4ア					○			○		
2三ア	【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す（みじか・い）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○			○		
2三イ	【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す（ふしぎ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○			○		
2四	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6エ			○			○	
3一	【文章】の特徴として適切なものを選択する	話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる	5・6カ						○			○		
3二	傍線部①、②、③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6イ					○			○		
3三(1)	【話し合いの様子の一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる						5・6ウ		○		○		
3三(2)	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる						5・6オ		○			○	

令和8年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【国語】
広島県—児童（公立）

小学校調査
その2

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題番号		全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		
						呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市
																	安芸高田市	安芸太田町	北広島町							
教科全体	平均正答率	60.9	64	64	62	63	64	60	64	64	59	66	68	67	69	73	56	68	62	67	64	65	67	72	64	66
	平均正答数	7.9/13	8.3/13	8.3/13	8.1/13	8.1/13	8.3/13	7.8/13	8.4/13	8.3/13	7.7/13	8.6/13	8.8/13	8.7/13	8.9/13	9.5/13	7.3/13	8.8/13	8.1/13	8.7/13	8.3/13	8.4/13	8.7/13	9.4/13	8.3/13	8.5/13
1一		73.9	76.2	75.9	74.5	77.8	77.7	74.7	78.3	77.3	73.6	76.6	79.7	77.4	75.5	85.7	69.2	82.4	76.8	76.4	78.0	74.3	82.7	85.7	77.1	75.4
1二(1)		60.2	62.0	62.4	60.0	60.5	67.0	58.6	63.9	63.5	60.4	66.5	66.8	59.8	65.5	67.9	50.8	61.8	57.1	64.0	60.3	64.8	57.7	60.0	60.9	61.3
1二(2)		63.2	65.1	65.8	62.5	64.9	65.2	71.3	64.8	67.1	57.1	66.3	71.2	67.1	79.1	78.6	59.5	58.8	62.5	66.8	63.0	65.7	65.4	65.7	62.0	64.9
1二(3)		65.2	69.2	68.4	66.7	69.8	82.1	63.8	73.0	70.1	65.9	69.8	72.0	75.0	70.9	92.9	58.9	76.5	64.3	78.1	73.1	65.7	68.3	80.0	64.4	75.4
2一		57.9	59.7	61.7	56.4	56.7	52.7	56.9	61.7	58.6	49.5	60.2	54.6	57.9	63.6	60.7	53.0	61.8	55.4	60.6	62.0	53.5	61.5	51.4	53.9	61.3
2二		48.9	51.4	50.9	48.2	52.4	50.0	48.3	53.9	51.4	48.4	52.4	53.5	60.4	56.4	64.3	41.1	55.9	57.1	57.0	55.1	48.3	57.7	48.6	53.4	59.2
2三ア		80.0	84.0	84.2	81.5	84.9	83.9	82.8	83.4	85.6	82.4	82.8	89.3	87.2	81.8	92.9	74.6	73.5	81.3	87.8	87.8	85.7	84.6	91.4	87.1	79.1
2三イ		45.2	48.8	56.2	47.9	34.7	30.4	28.2	37.8	41.9	37.4	55.2	51.7	62.8	62.7	35.7	31.4	41.2	41.1	39.6	33.5	59.1	42.3	60.0	50.9	30.4
2四		33.5	37.0	33.8	35.8	37.9	40.2	29.9	41.9	40.3	35.2	41.9	43.9	40.2	46.4	71.4	38.4	58.8	34.8	47.4	40.3	37.8	51.0	60.0	43.4	44.0
3一		76.7	78.8	79.4	77.3	78.5	77.7	77.0	79.5	77.1	63.7	82.3	80.8	81.7	80.0	75.0	73.5	82.4	85.7	79.5	77.7	78.3	81.7	94.3	78.4	82.2
3二		55.6	58.5	57.5	57.2	56.7	64.3	52.9	60.4	59.4	59.3	62.8	63.1	62.2	61.8	71.4	45.9	61.8	55.4	64.5	60.4	61.3	70.2	74.3	58.5	66.5
3三(1)		55.5	56.8	57.7	55.5	55.8	56.3	52.9	56.1	57.1	56.0	56.7	57.9	50.6	59.1	64.3	54.1	73.5	54.5	57.0	54.9	57.4	57.7	74.3	56.9	62.3
3三(2)		76.4	81.2	77.6	82.2	83.8	87.5	81.6	83.0	83.5	83.5	87.9	93.7	90.9	89.1	85.7	81.1	91.2	83.0	86.9	84.7	88.7	84.6	91.4	84.4	90.1

・以下の集計値／グラフは、4月23日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果							
対象学校数		広島県（公立）	全国（公立）	対象児童数		広島県（公立）	全国（公立）
		440	18,075			21,559	922,778

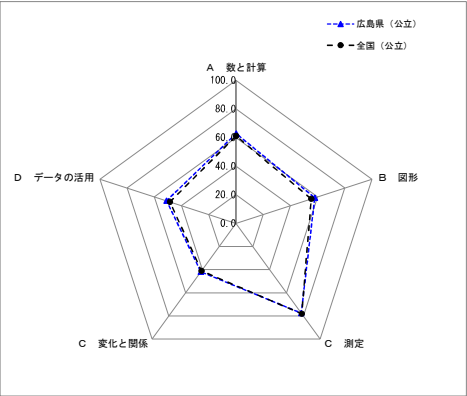
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
				広島県（公立）	全国（公立）
全体			16	58	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算		8	62.8	61.1
	B 図形		4	57.9	55.3
	C 測定		1	77.6	78.1
	C 変化と関係		3	41.9	41.1
	D データの活用		4	51.1	48.6
評価の観点	知識・技能		12	61.6	60.1
	思考・判断・表現		4	48.8	45.4
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		5	57.4	56.0
	短答式		8	61.1	59.7
	記述式		3	52.8	48.5

（注）「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		
			A 数と 計算	B 図 形	C 測 定	C 変 化 と 関 係	D デ ー タ の 活 用	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	選 択 式	短 答 式	記 述 式
1（1）	一辺が8cmの立方体の体積を求める式を書く	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる	5(4) ア(イ)					○				○	
1（2）	直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書く	直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる	2(1) ア(ウ) 4(2) ア(ア)					○				○	
1（3）	1立方センチメートルの立方体を36個使ってきた直方体の体積を書く	体積の意味について理解しているかどうかをみる	5(4) ア(ア)					○				○	
1（4）	四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く	日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	2(2) ア(ア)	4(2) ア(ア) ※			3(1) ア(ア)	○					○
2（1）	74291の百の位の数を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	概数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる	4(2) ア(イ)					○			○		
2（2）	インガメ14匹が動物園全体のカメの数の20%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求めると答えを書く	百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる				5(3) ア(イ)		○				○	
2（3）	ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる				5(2) イ(ア)		○			○		
2（4）	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる	4(4) ア(ア)			5(3) ア(ア)		○			○		
3（1）	1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	4(4) ア(イ)					○				○	
3（2）	二つの小数のどちらが5に近いかを判断するために、6.37－5と5－3.76を計算する	整数と小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる	4(4) ア(ウ)					○				○	
3（3）	7/3と7/4のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	4(5) ア(ア) 7(2) イ(イ) 7(2) ア(ア) 7(2) ア(ア)					○					○
3（4）	5/3を表す目盛りが示された数直線上で、1を表す目盛りを選ぶ	単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる	3(6) ア(ア) ア(イ)					○			○		
4（1）	全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表1と表2の中から書く	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる					3(1) ア(ア) ※	○					○
4（2）	普通びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く	示された情報を基に、数量の關係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	2(2) ア(ア) 3(4) ア(ア)		3(2) ア(イ)			○				○	
4（3）	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる					4(1) ア(ア)	○				○	
4（4）	帯グラフから、「いっしょに話ができたこと」の割合が約何%かを選ぶ	帯グラフの特徴と読み方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる					5(1) ア(ア)	○			○		

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題番号		全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		
						呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市
																	安芸高田市	安芸太田町	北広島町							
教科全体	平均正答率	56.4	58	58	57	58	59	56	60	58	53	60	66	67	64	68	51	60	55	64	60	60	60	61	58	58
	平均正答数	9.0/16	9.3/16	9.3/16	9.2/16	9.2/16	9.5/16	8.9/16	9.7/16	9.2/16	8.5/16	9.6/16	10.6/16	10.7/16	10.3/16	10.9/16	8.1/16	9.5/16	8.8/16	10.2/16	9.6/16	9.5/16	9.5/16	9.8/16	9.3/16	9.4/16
1（1）		72.7	78.7	74.8	78.8	79.7	88.4	89.1	83.6	79.4	72.5	76.6	91.1	92.7	88.2	100.0	84.9	82.4	77.7	88.4	86.7	83.9	93.3	88.6	78.4	87.4
1（2）		63.0	65.1	65.6	63.3	60.8	68.8	59.8	68.5	64.7	56.0	64.5	72.0	63.6	73.6	78.6	57.3	67.6	62.5	72.1	64.4	66.1	62.5	71.4	60.0	62.8
1（3）		40.1	40.3	42.2	38.7	35.4	34.8	39.1	42.0	36.8	31.9	39.2	40.2	36.4	54.5	46.4	27.6	32.4	32.1	44.0	38.7	32.2	34.6	37.1	40.0	40.3
1（4）		45.2	47.3	47.9	43.9	46.1	46.4	37.4	49.2	48.1	42.9	55.0	58.7	46.1	58.2	60.7	39.5	44.1	43.8	49.7	47.7	48.7	44.2	42.9	44.3	49.2
2（1）		66.5	67.8	66.4	69.4	69.1	66.1	62.1	66.7	69.1	63.7	69.4	72.7	78.2	69.1	75.0	51.9	70.6	61.6	73.4	68.9	71.3	80.8	82.9	67.3	68.6
2（2）		53.1	54.4	55.8	51.3	53.0	57.1	47.7	54.3	51.7	45.1	59.5	63.8	65.5	63.6	53.6	42.2	55.9	52.7	59.9	55.4	50.9	38.5	45.7	50.0	50.8
2（3）		36.1	36.9	37.1	35.1	33.2	33.0	36.2	38.6	35.9	34.1	39.4	38.0	47.9	36.4	42.9	34.6	41.2	42.0	40.6	40.6	35.7	38.5	28.6	36.5	37.2
2（4）		34.2	34.4	35.7	31.5	32.3	33.0	32.8	35.9	33.3	23.1	33.3	33.2	41.2	31.8	42.9	28.1	38.2	26.8	42.6	34.4	30.9	29.8	37.1	30.3	29.3
3（1）		94.5	95.4	95.5	94.8	94.1	92.0	92.5	95.8	94.6	92.3	95.1	97.4	97.6	100.0	100.0	93.0	88.2	98.2	96.2	96.4	97.0	99.0	100.0	97.3	93.7
3（2）		58.1	59.7	60.0	56.7	59.2	61.6	54.6	60.0	60.9	48.4	64.5	72.7	69.1	71.8	71.4	45.4	70.6	58.0	65.7	61.1	63.9	50.0	57.1	55.1	56.5
3（3）		44.0	49.3	45.9	51.6	50.5	57.1	47.1	52.8	48.4	51.6	53.2	62.4	61.2	54.5	71.4	34.6	44.1	41.1	58.0	50.9	52.6	60.6	57.1	56.5	53.4
3（4）		68.1	70.6	67.5	72.7	72.8	75.9	69.5	72.0	70.0	67.0	70.0	81.9	79.4	73.6	82.1	61.1	70.6	60.7	81.5	73.4	81.3	79.8	80.0	74.1	71.2
4（1）		56.2	61.7	58.0	60.8	65.9	67.9	56.3	67.6	60.6	58.2	62.8	76.8	81.2	64.5	78.6	58.4	73.5	53.6	67.9	70.0	64.8	68.3	80.0	70.3	68.1
4（2）		78.1	77.6	78.0	74.0	76.3	80.4	79.3	81.0	77.0	75.8	81.1	84.5	84.2	80.9	89.3	71.9	82.4	76.8	80.9	77.0	80.9	77.9	85.7	75.9	73.3
4（3）		17.9	17.7	18.6	16.4	15.2	6.3	14.9	19.6	15.0	6.6	20.3	27.7	35.2	25.5	17.9	8.6	17.6	12.5	16.9	16.0	15.7	13.5	14.3	14.3	15.2
4（4）		74.9	77.7	76.3	77.8	78.0	79.5	71.8	80.0	77.3	80.2	76.0	86.3	87.9	85.5	82.1	75.1	73.5	80.4	81.0	80.9	78.7	82.7	74.3	75.9	78.0

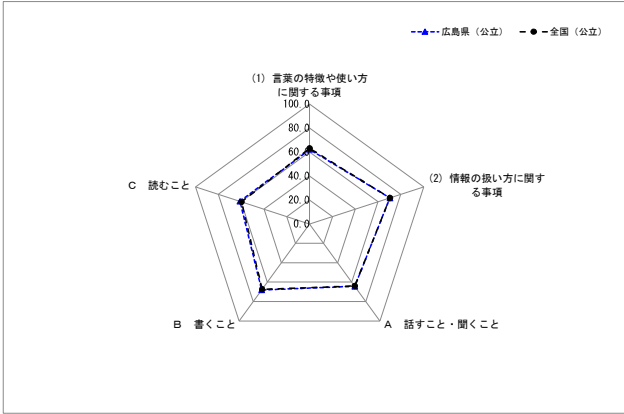
・以下の集計値／グラフは、4月23日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果							
対象学校数		広島県（公立）	全国（公立）	対象生徒数		広島県（公立）	全国（公立）
		235	9,098			19,415	841,873
分類		区分		対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
					広島県（公立）	全国（公立）	
全体				15	64	63.9	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項		5	62.1	63.0	
		(2) 情報の扱い方に關する事項		1	70.4	70.4	
		(3) 我が国の言語文化に關する事項		0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと		3	64.2	63.9	
		B 書くこと		3	68.1	67.4	
		C 読むこと		3	61.1	59.7	
		知識・技能		6	63.4	64.2	
		思考・判断・表現		9	64.5	63.7	
主体的に学習に取り組む態度		0					
評価の観点	選択式		9	72.3	72.7		
	短答式		3	56.2	55.8		
	記述式		3	47.1	45.5		

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
			(1)	(2)	(3)	A	B	C						
			言葉の特徴や使い方に關する事項	情報の扱い方に關する事項	我が国の言語文化に關する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
1一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	2オ						○			○		
1二	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する	単語の類別について理解しているかどうかをみる	1エ						○			○		
1三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	単語の活用について理解しているかどうかをみる	2オ						○			○		
2一	発言について説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				1ア			○			○		
2二	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				1エ			○			○		
2三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	2イ						○			○		
2四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる				2オ			○				○	
3一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する（とる）	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	2ウエ						○			○		
3二	気持ちがよく伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる					2ウ		○			○		
3三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる					2イ		○			○		
3四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる					2オ		○				○	
4一	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる						1ア	○			○		
4二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる	1ウ						○			○		
4三	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる						1ウ	○			○		
4四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる						1オ	○				○	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



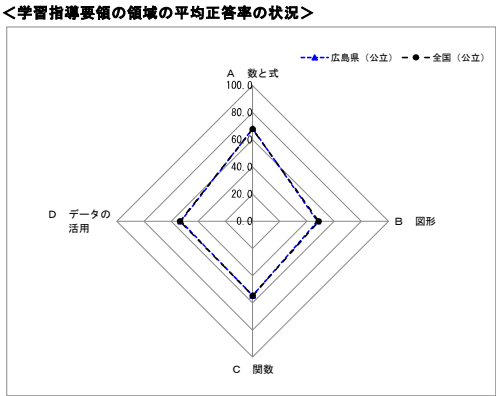
問題番号		全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		県立中学校	
						呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市		庄原市
																	安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
教科全体	平均正答率	63.9	64	64	63	64	58	61	64	66	64	65	66	66	70	66	62	60	60	62	64	64	63	65	61	65	86
	平均正答数	9.6/15	9.6/15	9.6/15	9.5/15	9.6/15	8.7/15	9.1/15	9.6/15	9.9/15	9.6/15	9.8/15	9.9/15	9.9/15	10.5/15	9.9/15	9.3/15	8.9/15	9.1/15	9.4/15	9.7/15	9.5/15	9.4/15	9.8/15	9.1/15	9.7/15	13.0/15
1一		84.3	82.9	83.3	82.2	82.9	76.0	83.5	81.6	83.5	77.4	83.8	86.3	86.7	86.8	75.0	80.0	71.4	75.2	79.5	83.2	83.3	86.9	84.0	79.9	77.6	97.3
1二		70.2	67.7	67.5	64.5	70.9	63.5	60.4	69.2	71.5	65.1	70.4	67.3	60.8	70.3	62.5	68.6	71.4	66.3	64.9	67.3	69.0	74.7	66.0	68.3	67.8	85.8
1三		85.4	84.3	84.4	83.5	85.3	82.7	83.5	85.0	85.3	83.0	83.2	86.3	85.6	87.9	91.7	80.5	82.1	81.2	84.1	83.1	80.1	80.8	84.0	82.6	80.0	96.6
2一		68.5	68.2	67.5	67.2	69.1	65.4	57.9	69.1	73.4	59.4	65.2	67.7	70.2	80.2	70.8	65.9	57.1	72.3	67.0	70.1	68.1	63.6	66.0	64.9	67.8	95.4
2二		70.4	70.6	70.3	68.8	72.0	64.4	67.1	73.3	72.0	68.9	69.4	72.6	73.5	75.8	75.0	70.3	67.9	59.4	69.9	67.9	73.1	71.7	70.0	71.3	72.7	87.7
2三		70.4	70.4	70.1	69.7	70.5	63.5	68.3	70.6	71.2	70.8	74.1	75.4	71.3	74.7	62.5	73.0	53.6	65.3	70.8	69.3	68.5	63.6	76.0	64.3	65.4	93.5
2四		52.7	53.9	51.5	54.0	53.5	52.9	57.9	54.9	58.2	62.3	56.8	56.9	58.0	65.9	54.2	61.6	64.3	46.5	55.3	55.5	54.2	54.5	64.0	53.0	57.1	77.4
3一		39.8	39.1	39.0	37.4	38.8	30.8	37.8	40.4	36.7	43.4	40.8	43.5	49.7	51.6	20.8	20.0	28.6	29.7	34.1	40.8	37.5	35.4	42.0	31.1	40.5	85.4
3二		92.3	93.2	93.8	92.5	94.4	89.4	93.3	92.3	95.3	86.8	94.0	94.4	96.1	93.4	100.0	90.3	85.7	90.1	90.0	91.8	92.1	91.9	98.0	89.6	92.2	98.9
3三		65.0	65.4	65.1	65.1	65.4	55.8	62.2	63.7	66.1	67.9	67.8	71.0	66.3	76.9	75.0	56.8	78.6	62.4	65.2	68.2	66.2	68.7	70.0	57.6	70.2	82.4
3四		45.0	45.6	44.4	44.8	43.1	37.5	47.0	47.9	50.5	46.2	45.3	48.0	55.8	48.4	58.3	38.9	35.7	49.5	43.7	45.1	44.0	42.4	44.0	41.8	49.8	82.4
4一		71.6	72.4	72.1	72.4	71.8	61.5	64.6	71.2	72.2	75.5	74.1	73.0	75.7	72.5	75.0	78.4	71.4	83.2	73.4	74.1	71.3	69.7	74.0	70.7	74.1	82.8
4二		35.2	36.4	36.7	36.4	34.6	33.7	26.8	35.6	37.4	39.6	38.2	38.7	32.6	37.4	58.3	29.7	32.1	30.7	32.4	35.2	39.4	27.3	32.0	33.2	40.5	61.3
4三		68.7	68.8	69.1	66.4	68.5	59.6	67.7	67.3	72.7	69.8	71.7	67.7	63.0	75.8	62.5	65.4	60.7	64.4	68.7	69.3	68.1	67.7	74.0	66.5	73.7	92.0
4四		38.9	42.0	42.0	40.8	37.2	35.6	33.5	40.5	45.4	42.5	44.8	46.0	43.1	51.6	45.8	49.7	32.1	29.7	38.0	44.2	39.8	44.4	32.0	39.6	44.9	78.2

・以下の集計値／グラフは、4月23日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	広島県（公立）	全国（公立）
	235	9,095		19,436	842,491

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			広島県（公立）	全国（公立）
全体		16	57	57.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	68.1	67.8
	B 図形	4	47.8	48.7
	C 関数	3	54.7	54.8
	D データの活用	4	52.9	53.5
評価の観点	知識・技能	12	62.3	63.0
	思考・判断・表現	4	39.9	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	3	59.0	59.3
	短答式	9	63.4	64.2
	記述式	4	39.9	39.1



問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
1	2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる	1 (1) ア(ウ)				○				○	
2	7 x + 9 - 5 x + 7 x ^ 2 + 2 x から、7 x の同類項をすべて書く	同類項の意味を理解しているかどうかをみる	2 (1) ア(ア)				○				○	
3	四角形PQRSにおいて、PS平行QRを示すための根拠となる二つの角を書く	2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる		2 (1) ア(ア)			○				○	
4	反比例の表において、xの値が-3のときのyの値を求める	反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、xの値に対応するyの値を求めることができるかどうかをみる			1 (1) ア(イ)		○				○	
5	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6で小さいさいころの目が1である確率を求める	起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる				2 (2) ア(イ)	○				○	
6 (1)	選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる	2 (1) ア(エ)				○				○	
6 (2)	陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ	事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうかをみる	2 (1) ア(ウ)				○			○		
6 (3)	手順にしたがってできたAとBについて、A-Bの値がどんな数になるかを、選んだ2数の差に着目して説明する	統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ(イ)					○				○
7 (1)	動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Cの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる			1 (1) ア(ウ)		○				○	
7 (2)	データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			1 (1) イ(イ)			○				○
8 (1)	∠AOBの大きさをa°のとき、∠POBの大きさをaを用いた式で書く	具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる			1 (1) ア(ア)		○				○	
8 (2)	図1において、AB=AP、OB=OPならば∠AOB=∠AOPであることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる			2 (2) イ(イ)			○				○
8 (3)	図2において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる			2 (2) ア(イ)		○			○		
9 (1)	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1 (1) ア(ア)	○				○	
9 (2)	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる				2 (1) ア(ア)	○			○		
9 (3)	「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる				1 (1) イ(ア)		○				○

問題番号			全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所																東部教育事務所					北部教育事務所		県立中学校
							呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市			
																		安芸高田市	安芸太田町	北広島町										
教科全体	平均正答率	57.0	57	57	55	55	56	54	58	58	53	59	64	57	65	53	53	46	51	54	57	56	52	52	55	56	86			
	平均正答数	9.1/16	9.1/16	9.0/16	8.9/16	8.8/16	8.9/16	8.6/16	9.3/16	9.4/16	8.4/16	9.5/16	10.2/16	9.2/16	10.3/16	8.4/16	8.5/16	7.3/16	8.2/16	8.6/16	9.1/16	9.0/16	8.3/16	8.4/16	8.8/16	9.0/16	13.8/16			
1		85.7	85.3	86.0	84.7	83.7	85.4	82.9	85.3	86.5	87.7	85.4	85.9	84.0	81.3	87.5	81.5	67.9	89.1	85.2	82.4	81.9	86.9	86.0	80.8	82.0	98.5			
2		70.5	69.8	70.4	69.1	69.1	75.7	65.2	67.3	75.2	60.4	64.5	75.4	68.5	79.1	54.2	59.8	75.0	53.5	66.6	73.4	75.9	57.6	54.0	66.5	67.3	83.8			
3		49.1	47.0	48.1	45.0	42.8	42.7	32.9	49.4	43.8	44.3	48.6	60.5	39.8	60.4	41.7	42.9	21.4	36.6	40.1	45.5	44.9	35.4	38.0	47.0	47.8	90.4			
4		55.3	53.4	53.1	48.8	54.3	54.4	61.6	57.3	59.9	51.9	61.1	60.9	50.3	60.4	25.0	45.1	39.3	45.5	50.2	50.7	56.5	48.5	50.0	51.2	44.9	91.2			
5		60.2	58.7	58.3	55.5	62.6	67.0	64.0	59.1	65.1	61.3	70.8	64.1	56.9	74.7	50.0	59.2	46.4	45.5	48.7	58.5	54.6	54.5	48.0	50.6	49.3	92.7			
6(1)		73.2	75.0	74.2	73.6	74.3	76.7	65.9	76.7	78.6	67.0	78.9	82.7	74.0	83.5	70.8	75.0	60.7	77.2	73.1	74.0	74.1	77.8	84.0	76.2	76.6	95.4			
6(2)		65.0	64.9	65.3	64.4	62.3	62.1	65.2	63.2	66.5	67.0	62.7	63.3	68.5	75.8	66.7	67.4	57.1	58.4	63.2	65.9	60.6	60.6	60.0	60.7	65.4	83.8			
6(3)		44.6	45.7	45.6	44.1	43.6	41.7	40.9	45.1	47.0	45.3	46.7	55.6	45.9	54.9	41.7	45.1	35.7	37.6	43.1	45.8	48.6	39.4	44.0	42.7	48.3	85.4			
7(1)		75.2	74.7	73.5	73.9	75.1	72.8	73.8	78.1	77.1	70.8	75.5	81.0	76.8	73.6	91.7	72.8	64.3	74.3	72.9	74.9	76.9	71.7	72.0	73.8	72.2	96.5			
7(2)		33.9	36.0	33.3	39.5	32.7	31.1	36.6	36.6	41.4	28.3	36.6	49.6	38.7	37.4	58.3	30.4	25.0	26.7	33.6	34.3	35.6	34.3	40.0	36.6	41.5	78.5			
8(1)		62.5	61.6	61.8	61.0	61.8	53.4	51.2	62.2	61.7	57.5	63.7	71.4	59.1	74.7	54.2	57.1	46.4	59.4	54.5	59.2	63.4	53.5	52.0	55.8	60.0	96.9			
8(2)		46.1	45.2	47.5	44.3	38.6	37.9	34.8	43.6	44.6	31.1	41.8	55.6	44.2	64.8	16.7	28.8	28.6	27.7	40.4	44.9	42.6	29.3	34.0	39.3	47.3	80.8			
8(3)		37.1	37.4	38.4	35.3	31.0	34.0	35.4	37.1	39.1	37.7	37.1	41.5	38.7	40.7	20.8	32.6	25.0	26.7	37.9	37.3	37.0	33.3	28.0	32.6	43.9	71.2			
9(1)		46.0	45.5	43.8	44.6	42.6	45.6	47.6	53.4	37.0	36.8	61.1	48.0	58.6	58.2	58.3	46.7	25.0	53.5	45.1	49.3	41.2	44.4	48.0	50.3	37.6	68.8			
9(2)		75.8	74.8	74.9	71.7	74.1	78.6	70.7	76.0	76.7	68.9	79.4	79.4	81.2	79.1	75.0	75.0	82.1	73.3	71.7	74.4	75.0	69.7	82.0	77.4	75.6	91.2			
9(3)		31.9	32.7	30.5	31.6	29.8	29.1	33.5	36.6	34.9	24.5	35.2	46.4	34.8	35.2	29.2	29.9	32.1	30.7	31.9	36.7	34.7	29.3	18.0	39.9	37.1	71.9			

・以下の集計値は、4月20日から4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。
※「予測正答率」や「問題の難易度」を示す対象としない問題については空欄となっている。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			問題の難易度	広島県（公立） 対象生徒数
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと 「やり取り」	(4) 話すこと 「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式		
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものをを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	○※					○			○			4	19,359
2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			3	6,743
3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			3	6,306
4	職場体験についての発表を聞き、その後に表示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	イ						○		○			4	6,310
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			4	19,359
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる		○※				○			○			3	19,359
7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			3	6,785
8	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			3	6,297
9	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものをを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる		イ					○		○			5	6,277
10（1）	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる		ウ					○		○			4	19,359
10（2）	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる						ウ	○			○		5	19,359
11①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		3	19,359
11②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		3	19,359
12	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○			○		4	6,745
13	留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○			○		4	6,297
14	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○			○		4	6,317

※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

問題 番号	全 国	広 島 県	広 島 市	福 山 市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		県立中 学校	
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	基北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市		庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
1	60.2	57.4	56.7	56.6	51.8	52.8	54.3	60.5	59.7	58.5	57.5	54.7	57.8	62.4	73.9	55.8	48.3	64.4	58.1	57.9	57.5	59.6	52.9	58.5	63.7	87.5
2	78.5	76.6																								
3	76.0	75.0																								
4	43.8	43.4																								
5	55.6	54.9	56.1	53.5	52.9	50.9	58.5	49.6	60.1	46.2	46.9	53.0	46.7	53.8	65.2	49.7	51.7	55.4	52.5	58.7	59.8	49.5	58.8	56.3	45.8	82.2
6	67.3	68.6	69.1	65.9	68.9	64.8	67.7	66.6	73.6	67.9	71.8	76.1	66.7	73.1	65.2	64.1	51.7	61.4	62.4	71.0	68.5	69.7	58.8	65.8	68.7	95.8
7	72.4	71.6																								
8	63.8	64.1																								
9	49.0	45.8																								
10(1)	47.5	47.3	50.2	45.2	43.9	39.8	45.7	45.6	46.4	39.6	36.5	39.7	37.8	50.5	43.5	38.1	48.3	45.5	42.0	44.4	45.2	37.4	45.1	43.1	43.3	87.5
10(2)	27.8	26.7	25.7	25.3	22.1	25.9	23.2	29.4	30.4	23.6	24.9	32.4	24.4	37.6	17.4	24.9	34.5	18.8	25.4	29.6	26.9	20.2	19.6	23.1	28.4	75.8
11①	58.9	58.2	57.9	62.3	53.3	45.4	50.0	57.2	60.4	50.9	52.1	61.5	46.1	63.4	56.5	42.0	51.7	40.6	51.2	62.7	61.6	52.5	43.1	51.1	60.7	94.7
11②	52.7	49.7	47.7	51.8	43.5	38.0	47.6	57.3	54.1	50.0	49.5	59.9	45.6	52.7	47.8	38.7	48.3	31.7	39.6	52.5	52.1	45.5	39.2	45.2	57.7	89.0
12	47.5	51.5	※ 問題の難易度は、5段階で示され、非公開問題も含めた正誤状況に基づいて分析し、事後的に付与したものです。例えば、難易度3の問題はIRTバンド3の生徒がおおよそ(約8割の確率で)正答できると推定されます。 ※ 公開問題には、全日程に共通する問題と実施日により異なる問題があり、市町によっては解答していない公開問題があるため、各市町の平均正答率は、公開問題の全日程に共通する問題1、5、6、10①②、11①②のみ示しています。																							
13	44.0	45.9																								
14	27.8	26.0																								

			平均 IRTスコア	IRTバンド分布グラフ						IRTバンド割合					
				1 2 3 4 5						1	2	3	4	5	
				0%	20%	40%	60%	80%	100%						
全国			499							4.7%	28.2%	38.4%	22.7%	5.9%	
広島県			492							4.7%	29.5%	40.6%	20.5%	4.8%	
広島市			485～494							4.3%	30.2%	42.4%	19.0%	4.0%	
福山市			485～494							5.1%	29.5%	40.6%	20.2%	4.6%	
西部 教育 事務 所	呉市		475～484							4.6%	34.1%	39.3%	18.3%	3.7%	
	竹原市		465～474							5.6%	32.4%	42.6%	17.6%	1.9%	
	大竹市		485～494							4.9%	31.1%	42.7%	18.3%	3.0%	
	東広島市		495～504							4.4%	28.2%	39.5%	23.0%	4.9%	
	廿日市市		505～514							3.8%	24.2%	41.1%	25.8%	5.2%	
	江田島市		475～484							6.6%	34.0%	37.7%	17.9%	3.8%	
	府中町		485～494							6.2%	28.2%	40.4%	20.5%	4.7%	
	海田町		505～514							4.5%	24.3%	41.7%	21.5%	8.1%	
	熊野町		475～484							4.4%	36.1%	33.3%	22.8%	3.3%	
	坂町		505～514							2.2%	29.0%	37.6%	23.7%	7.5%	
	大崎上島町		485～494							0.0%	30.4%	52.2%	13.0%	4.3%	
	芸 北 支 所	安芸高田市		455～464							9.9%	34.8%	37.6%	14.9%	2.8%
		安芸太田町		475～484							10.3%	27.6%	44.8%	13.8%	3.4%
		北広島町		465～474							6.9%	34.7%	45.5%	11.9%	1.0%
東部 教育 事務 所	三原市		475～484							6.5%	35.0%	35.2%	17.8%	5.5%	
	尾道市		505～514							5.5%	25.7%	37.4%	23.7%	7.7%	
	府中市		495～504							3.7%	24.7%	44.7%	22.8%	4.1%	
	世羅町		475～484							7.1%	31.3%	38.4%	20.2%	3.0%	
	神石高原町		455～464							17.6%	25.5%	39.2%	13.7%	3.9%	
北部 教育 事務 所	三次市		475～484							4.6%	30.8%	44.6%	16.3%	3.7%	
	庄原市		495～504							4.0%	27.9%	39.3%	24.9%	4.0%	

※ 平均IRTスコアは、国が都道府県別結果を公表する際の表記に準じた形で表記しています。市町が平均IRTスコアを公表する際、市町の判断により1の位まで公表することができますので、その場合は、県の公表値と異なります。

※ IRTスコア、IRTバンドについては、「IRTに基づく結果提供に関するリーフレット動画等」を参考にしてください。

文部科学省HP: https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/mext_03311.html